

DSO参加機関のイベントのご案内

◆筑波大学◆ 第1回筑波大学グローバルリーダー養成シンポジウム

<http://glc-net.tsukuba.ac.jp/?p=650>

今回のシンポジウムでは、産業界から演者をお招きし、「産業界で活躍できる博士人材」をテーマに企業で期待される能力要件や人物像について議論し、産学連携による人材開発について考えます。皆さまのご参加をお待ちしております。

【日時】平成24年11月7日(水) 13:15~17:35

【場所】筑波大学 大会館3階 国際会議室

<http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_south.html>

【プログラム】

13:15~13:20 開会挨拶 筑波大学長 山田信博

13:20~13:25 挨拶 文部科学省

人材政策企画官 佐藤弘毅

13:25~14:10 基調講演 産業技術総合研究所

理事長 野間口有

14:10~14:35 事業概要 科学技術振興機構

主管 木村忠正

14:35~15:00 講演1 株式会社東芝 研究開発センター

所長 斉藤史郎

15:15~15:40 講演2 富士フィルム株式会社

記録メディア研究所長 野口仁

15:40~16:05 講演3 アドバンスソフト株式会社
代表取締役社長 小池秀耀

16:05~16:30 講演4 ソフトイーサ株式会社
代表取締役会長 登大遊

16:30~17:30 パネルディスカッション

モデレータ 筑波大学ビジネスサイエンス系教授 小林信一

17:30~17:35 閉会挨拶 筑波大学副学長 鈴木久敏

18:00~19:30 懇親会

【参加費】無料(懇親会は会費2,500円、会場は大会館3階「レストランプラザ」になります)

【申込方法】件名「シンポジウム申込み」として、お申込みフォームから次の4点を記載してお申込み下さい。

1.お名前 2.ご所属 3.ご連絡先 4.懇親会参加の有無

<http://glc-net.tsukuba.ac.jp/?page_id=62>

【お問合せ】

筑波大学グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク (GLCNet)

TEL:029-853-5706, 5707 FAX:029-853-5708

◆理化学研究所◆ 「キャリア・ライフプラン研修」シリーズ 介護に関する研修会2012

「高齢期の住まいと選び方」～広告から読み取れること、読み取れないこと～

【日時】平成24年11月7日(水) 13:30~15:30

【場所】(独)理化学研究所(和光)池の端研究棟3階会議室

※守衛所にて入構手続をお済ませのうえ、直接会場にお越しください。

【定員】30名程度 費用：無料 申込方法：件名「11/7介護に関する研修会参加申込」として、①氏名 ②所属 ③連絡先を sankaku-kensyu@riken.jp まで

申込締切：平成24年10月31日(水) 17:00

【概要】

厚生労働省の発表によると、日本人の平均寿命は、男性が79.55歳、女性が86.30歳ですが、健康寿命は、男性が70.42歳、女性が73.62歳です。これは、男性で9年、女性で12年もの間、要介護などの状態にあることを表しています。「高齢期の住まい」とされるいわゆる「老人ホーム」には、要介護度の高い人が優先されるものから、元気な高齢者を対象にしたものまで、様々な施設があります。

本研修の前半では、各種「老人ホーム」の違いを、後半では、「有料老人ホーム」の広告の読み取り方を学び、自分自身のため、両親のため、いざというときに備えましょう。

【内容】

- 老人ホームとは
- 法制度に伴う主な高齢期の住まいの変遷
- 高齢期の住まい・施設
- 広告から読み取れること(有料老人ホームの場合)
- 広告から読み取れないこと(有料老人ホームの場合)

【講師】(株)ニュー・ライフ・フロンティア 有料老人ホーム・介護情報館 竹田 徹氏

【問合せ】(独)理化学研究所 人事部人材開発課

谷(048-462-6254) sankaku-kensyu@riken.jp

DSO参加機関に所属する方もご参加いただけるイベントをご紹介します。ふるってご参加ください。

「キャリア・ライフプラン研修」シリーズ
介護に関する研修会2012
「高齢期の住まいと選び方」
～広告から読み取れること、読み取れないこと～

日時：平成24年11月7日(水)13:30~15:30
場所：(独)理化学研究所(和光)池の端研究棟3階会議室
※守衛所にて入構手続をお済ませのうえ、直接会場にお越しください。

対象：研究系職員、事務系職員
定員：30名程度
費用：無料
申込方法：件名「11/7介護に関する研修会参加申込」として、①氏名 ②所属 ③連絡先を sankaku-kensyu@riken.jp まで
申込締切：平成24年10月31日(水)17:00

【概要】
厚生労働省の発表によると、日本人の平均寿命は、男性が79.55歳、女性が86.30歳ですが、健康寿命は、男性が70.42歳、女性が73.62歳です。これは、男性で9年、女性で12年もの間、要介護などの状態にあることを表しています。「高齢期の住まい」とされるいわゆる「老人ホーム」には、要介護度の高い人が優先されるものから、元気な高齢者を対象にしたものまで、様々な施設があります。

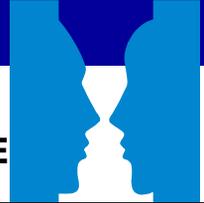
本研修の前半では、各種「老人ホーム」の違いを、後半では、「有料老人ホーム」の広告の読み取り方を学び、自分自身のため、両親のため、いざというときに備えましょう。

【内容】

- 老人ホームとは
- 法制度に伴う主な高齢期の住まいの変遷
- 高齢期の住まい・施設
- 広告から読み取れること(有料老人ホームの場合)
- 広告から読み取れないこと(有料老人ホームの場合)

【講師】
(株)ニュー・ライフ・フロンティア 有料老人ホーム・介護情報館 竹田 徹氏

【問合せ】
(独)理化学研究所 人事部人材開発課 谷 048-462-6254 sankaku-kensyu@riken.jp



セミナー開催報告

◆第2回産総研インターナショナルフォーラムの開催報告

産総研は新たな発見や革新(イノベーション)には、組織の多様性の活用(ダイバーシティ)が大きな役割を果たすという理念のもと、性別、年齢、国籍等にかかわらず能力が発揮できる環境の実現を積極的に推進しています。

2012年9月27日に、国際部、ダイバーシティ推進室、業務推進企画室AISTインターナショナルセンター(AIC)の主催により、昨年に引き続き産総研インターナショナルフォーラムを開催しました。産総研で活躍する外国人研究者と日本人研究者との国際的ネットワークの醸成と、科学的な知見や経験を共有する場として企画しました。

3名の研究者からの研究紹介、英語による所内制度の説明、外国籍研究者によるチームリーダーとしての経験について紹介があり、活発なディスカッションが行われました。



◆森林総合研究所 第12回エンカレッジ推進セミナーに参加しました

2012年10月4日に森林総合研究所・本所2階大会議室において、第12回エンカレッジ推進セミナー・平成24年度 労働衛生週間講演会が開催されました。(財)茨城カウニングセンター理事長の永原伸彦氏が「聴くことの

力を育てる」という題目でお話をされました。

“きく”には“聞く”と“聴く”があり、心を込めて聴くことが大事とはよく言われますが、人の話を聴くためには、まず自分が“聴いてもらう”体験が必要だと言うことに感銘を受けました。皆様も、たとえ簡単な悩みでもカウンセラーや産業医などに一度話を聴いてもらってはいかがでしょうか？

◆農業環境技術研究所◆ ロールモデル講演会を開催

2012年10月16日に、イギリス出身でノルウェーのトロムソ大学で教鞭を執られているエリザベス・J・クーパー博士をお招きし、農環研海外女性ロールモデル講演会「英国およびノルウェーの女性研究者の生活をチラ見する」を開催しました。

セミナーでは、美しい写真を交えたノルウェーの文化や社会的な背景の説明に続き、ノルウェー及び英国の高等教育の概要、トロムソ大学や長年在席されていたスバルバード大学センターの様子について解説いただきました。また、ノルウェーは、北海油田が開発されて以来豊かになり、女性常勤研究者のみならず女性ポスドクでも、産休・育休のオプションが充実していること、男女共同参画を推進する取組が進んでいることをご紹介いただきました。所内外から多数の参加者があり、講演終了後も活発な意見交換が行われました。



DSOイベントのお知らせ

◆産業技術総合研究所・DSO◆ ダイバーシティセミナー(予定)

【日時】 2012年12月5日(水)13時半～15時半

【場所】 産総研 つくばセンター 共用講堂

【演題】 (仮)女性のためのイクメンの育て方、
男性のためのイクメンのやり方

【講師】 おおたとしまさ氏 (育児・教育ジャーナリスト)

【内容】 イクメンが増えることは、女性の社会進出を手助けするだけでなく、視野の拡大・生命の理解・時間管理術の獲得などで男性自身の能力開発ともなり、ダイバーシティが推進することによって、組織のパフォーマンスアップに繋がる。おおた先生は「パパのトリセツ」「パパのネタ帳」などの著書があるママの視点をもったパパのプロフェッショナルです。そんな先生に“正しい”イクメンの育て方、やり方を、名著「パパのトリセツ」に沿った内容でご教示いただく予定です。

【対象】 DSO参加機関の職員

【申込】 産総研ダイバーシティ推進室DSO事務局
diversity-s-office-ml@aist.go.jp

件名に「ダイバーシティセミナー参加希望」とお書きになり、氏名、所属、事前質問(もしあれば)をご記入の上、メールでお申し込みください。

◆DSO第2回懇話会(予定)

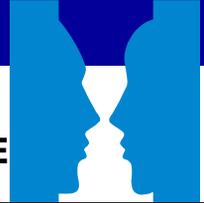
【日時】 2012年12月5日(水)15時半～17時

【場所】 産総研 つくばセンター 共用講堂

【対象】 DSO参加機関の担当者

【テーマ】 (仮)キャリア形成支援について

【内容】 大学院における女性比率の増加は留学生の増加によるところ大であることがわかってきた。日本人研究者の増加のために、幼少期から常勤研究者までの過程におけるキャリア形成支援がますます重要になると考えられる。DSO参加機関からそれぞれの取り組みを紹介していただき、今後も含めた議論を行う予定です。



男女共同参画学協会連絡会からのお知らせ

男女共同参画学協会連絡会

第3回大規模アンケートへのご協力をお願いします

男女共同参画学協会連絡会では、研究者・技術者を取り巻く現状を把握するために第3回大規模アンケートを実施致します。連絡会では、これまで2003年、2007年の2回にわたり大規模アンケート調査を行い、それぞれ約2万人の回答を得ました。

それらの調査結果は女性研究者・技術者が直面する様々な問題点を議論する上での統計的根拠として、現在も様々な場面で引用されております。また、それに基づいて作成した提言は、国の政策決定に反映されており、実際に男女共同参画に関する様々な支援策が講じられてまいりました。このようなアンケート調査を継続して実施することは、男女共同参画の実情やその認識の変化を明らかにし、実施されている政府事業の効果を検証し、さらに新たな課題を見出す上で大変重要と考えております。

アンケート回答URL(予定)<https://wss2.5star.jp/survey/index/n3dd5zyv/4134/>

アンケート回答期間は平成24年11月1日(木)～11月30日(金)です。

詳細は男女共同参画学協会連絡会HP

<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/enquete.html>をご覧ください。

回答にご協力いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

男女共同参画学協会連絡会

第10期委員長 関野 祐子(日本生理学会)

第11期委員長 澤田美智子(日本動物学会)

科学技術専門職の男女共同参画
第3回 大規模アンケート調査
2012年11月1日～30日



学協会連絡会に所属する学会会員でなくてもO.K.
大規模アンケート2012 検索
「男女共同参画学協会連絡会:アンケート・調査」

<https://wss2.5star.jp/survey/index/n3dd5zyv/4134/>

男女共同参画学協会連絡会
連絡先: questionnaire3@djrenrakukai.org
大規模アンケート担当:吉村由美子(日本神経科学学会)、道上達男(日本動物学会)

男女共同参画に関する世界の動向

◆ The World Economic Forum ◆ The Global Gender Gap Report 2012

<http://www.weforum.org/>

世界経済フォーラム(WEF)は10月24日に、2012年グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート(世界男女格差年次報告書)を発表しました。政治、経済、健康、教育の4分野での男女平等の度合いを評価したものです。日本は対象となった135カ国のうち101位で、昨年より三つ順位を落としました。ここ5年間で見ても、98 → 101 → 94 → 98 → 101と低空飛行を続けています。

細かく内容を見ますと、政治分野では、女性議員の少なさなどから110位。経済分野では、男女の賃金格差や女性の管理職・幹部の少なさなどから102位。健康分野では、健康寿命は長いものの、出生児の女兒割合の低さが足を引っ張って34位。教育分野では大学の女性入学者数の低さから81位となっています。報告書中で、日本についてわざわざ名前を挙げて、「男女の雇用格差をなくせば、日本の国内総生産(GDP)は16%増える」という研究結果を紹介しており、世界が日本経済の長年の低迷をどう見ているのか伺われます。一方で、これらジェンダーギャップの縮小に成功した国と、強力な経済競争力を持つ国との間には、強い相関関係があることが示されています。

ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

男女共同参画の取り組みを進めている研究教育19機関では、ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)を組織し、ワークライフバランス支援や意欲触発支援のノウハウの蓄積・発信・共有を進めております。

*DSOメンバー(参加順):産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業環境技術研究所、千葉大学、筑波大学、神戸大学、農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、農業生物資源研究所、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、弘前大学、岡山大学

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれで働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして月1回発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。